

第 103 期(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)
業務報告書 / ミニディスクロージャー誌





ごあいさつ

初夏の候、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、にいかわ信用金庫に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当金庫の第103期(令和7年度)の事業概況と決算状況につきまして、
ご報告申し上げます。

理事長 本多 敏明

【金融経済環境】

当事業年度における国内経済は緩やかな回復基調が続くなか、政府の経済対策の効果もあって更なる成長への期待が高まり、成長型経済への転換に向けた明るい兆しが着実に広がっています。

一方、世界的な情勢不安を背景に原材料価格の高騰や慢性的な人手不足など、中小企業の経営環境は依然として厳しい状況にあるほか、賃上げが物価上昇に追いつかず、また長引く物価上昇が消費マインドを低下させており、これらは経済の下押し圧力となることが懸念されます。

地域経済においては、緩やかな回復傾向が見られる一方で、円安による原材料価格の高騰や生産年齢人口の減少に伴う人手不足が課題となっています。多くの中小企業では、人件費などのコスト増加分を販売価格に転嫁することが難しい状況が続き、厳しい経営環境の1年となりました。

【業績】

業容面では、金融機関の預金獲得競争が激しさを増しており、預金積金は、前期比17億66百万円減少の1,712億12百万円となりました。貸出金は、円安・資材価格の高騰対策など事業者への資金支援の取組みと地方公共団体向け融資の増加により、前期比35億71百万円増加の691億19百万円となりました。その他、預け金残高は前期比37億43百万円減少の742億46百万円、有価証券残高は、おもに償還・売却により、前期比18億68百万円減少の267億1百万円となりました。

収益面では、貸出金残高の増加・貸出金利回りの上昇による貸出金利息の増加と国内の金利上昇に伴う預け金利息の増加などで、経常収益は前期比2億40百万円増加の21億38百万円となりました。一方、費用面では、「金利のある世界」に移行したことにより預金利息が増加した結果、経常費用は2億23百万円増加の18億29百万円となりました。

この結果、経常利益は前期比17百万円増加の3億9百万円、当期純利益は、固定資産売却による特別損失の計上があり、前期比85百万円減少の1億94百万円となりました。なお、本業の利益を示すコア業務純益は、前期比21百万円減少の2億98百万円となりました。

金融機関の重要指標の一つである自己資本比率につきましては、11.37%と国内基準4.0%を大幅に上回る水準にあり経営の安定と健全性を維持しております。

【事業の展望および対処すべき課題】

令和8年度は、当金庫中期経営計画の最終年にあたります。本計画では、地域・中小企業の最も身近なサポート役として「お客様への価値提供を通じて存在感をさらに高める」ことをテーマに掲げ、地域の持続的な発展に向けた支援力の発揮を目指しており、デジタル技術の活用を通じた生産性向上、省力化、人材確保、事業承継への支援など、人口減少社会を踏まえた課題解決支援に一層注力していく所存です。また、経営基盤の更なる強化に向けては、デジタル化の進展に即した金融サービスの提供と業務効率化の推進、金融犯罪やサイバーリスクへの対策の強化、コンプライアンス態勢の再徹底など、経営管理・リスク管理の強化にも引き続き取り組む方針です。

こうした取り組みを進めるにあたり最も重要な経営資源は人材です。当金庫は人的資本経営の取り組みの深化に努め、職員が誇りを持って働き、その活力が地域社会に還元されるような職場環境を構築してまいります。お取引先が抱える多様化する課題の解決に向け、役職員が一丸となって取り組むことで地域と共に成長する未来を目指してまいります。

皆様には、引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年6月

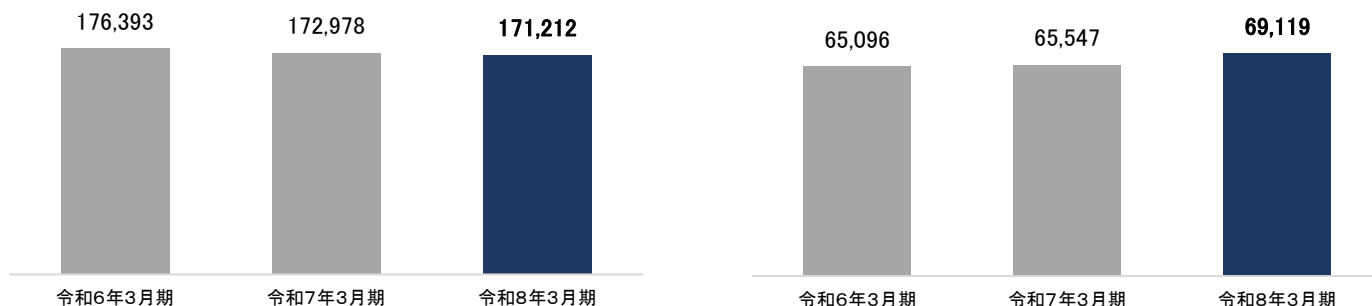
令和7年度の事業概況

【預金積金・貸出金の状況】

- 預金積金は、定期性預金は増加しましたが、おもに個人の要払性預金の減少があり、前期比では17億66百万円減少しました。
- 貸出金は、地方公共団体向け貸出が大きく伸び、前期比35億71百万円増加しました。

預金積金の状況
(百万円)

貸出金の状況
(百万円)



【収益の状況】

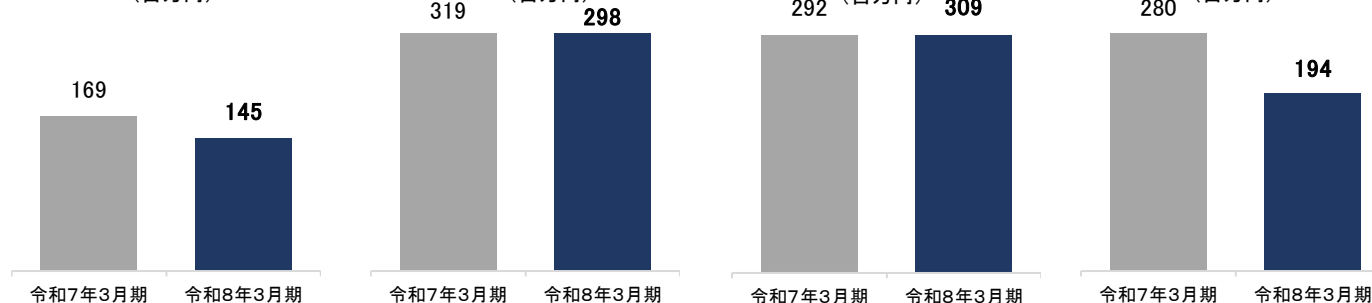
- 業務純益は、預金利息の増加等から、前期比24百万円減の1億45百万円となりました。なお、本来の事業活動の利益を示すコア業務純益については、前期比21百万円減の2億98百万円となりました。
- 経常利益は、与信関連費用が減少した結果、前期比17百万円増の3億9百万円、当期純利益は特別損失に固定資産処分損を計上したことから前期比85百万円減の1億94百万円となりました。

業務純益
(百万円)

コア業務純益
(百万円)

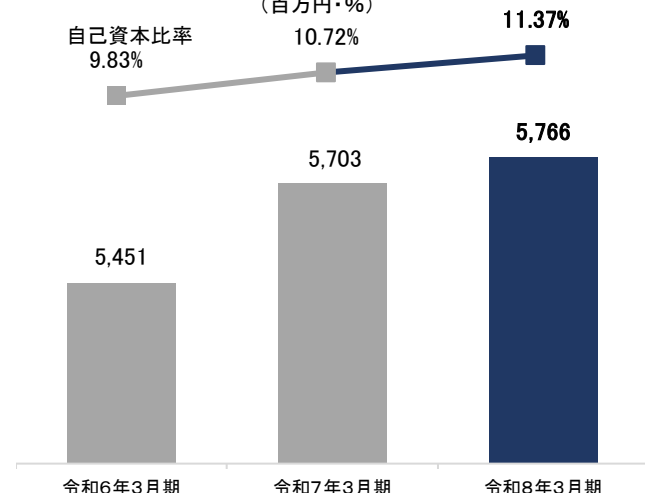
経常利益
(百万円)

当期純利益
(百万円)



自己資本額・自己資本比率の状況

(百万円・%)



【自己資本の状況】

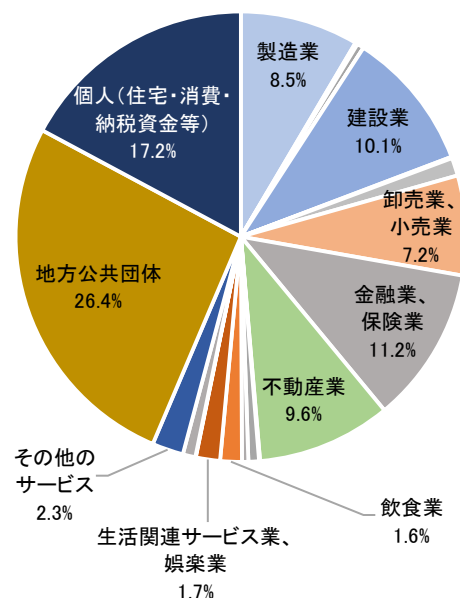
- 自己資本額は、当期利益の積み上げから、前期比63百万円増加の57億66百万円となりました。
- 自己資本比率は、自己資本額の増加等により、前期比0.65ポイント上昇の11.37%となりました。国内基準で定められた4.00%を上回る水準を確保しております。

【貸出金業種別内訳】

(単位:百万円)

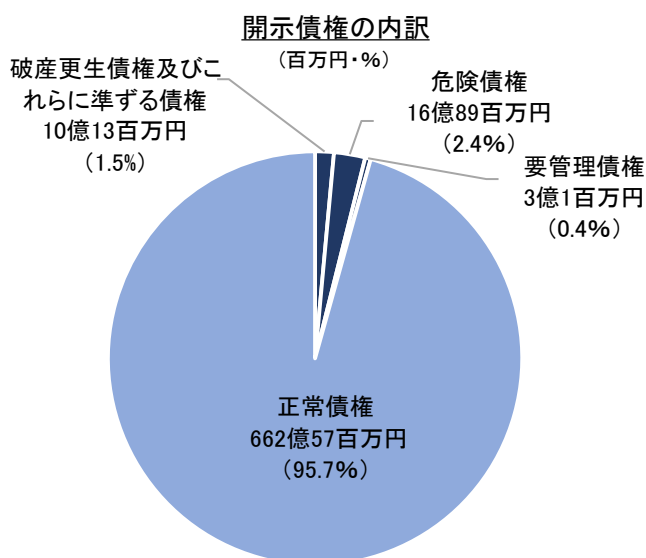
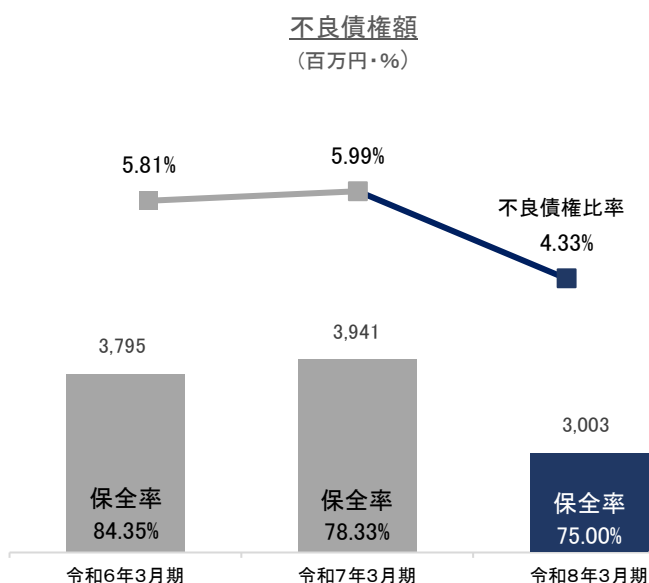
	令和7年3月期		令和8年3月期	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	6,488	9.90%	5,871	8.49%
農業、林業	121	0.18%	116	0.17%
漁業	445	0.68%	343	0.50%
鉱業、採石業、砂利採取業	34	0.05%	-	-
建設業	7,396	11.28%	6,960	10.07%
電気・ガス・熱供給・水道業	77	0.12%	68	0.10%
情報通信業	-	-	-	-
運輸業、郵便業	887	1.35%	889	1.29%
卸売業、小売業	5,335	8.14%	4,945	7.15%
金融業、保険業	7,763	11.84%	7,764	11.23%
不動産業	7,353	11.22%	6,661	9.64%
物品賃貸業	55	0.08%	48	0.07%
学術研究、専門・技術サービス業	550	0.84%	525	0.76%
宿泊業	356	0.54%	313	0.45%
飲食業	1,264	1.93%	1,074	1.55%
生活関連サービス業、娯楽業	1,464	2.23%	1,198	1.73%
教育、学習支援業	29	0.04%	23	0.03%
医療、福祉	676	1.03%	625	0.90%
その他のサービス	1,461	2.23%	1,555	2.25%
地方公共団体	11,628	17.74%	18,266	26.43%
個人(住宅・消費・納税資金等)	12,156	18.55%	11,866	17.17%
合計	65,547	100.00%	69,119	100.00%

貸出金業種別内訳
(令8年3月期)



【不良債権の状況】

- 信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権額は、前期比9億38百万円減少の30億3百万円となりました。内訳としては、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が10億13百万円、「危険債権」が16億89百万円、「要管理債権」が3億1百万円であります。
- 不良債権比率は1.66ポイント低下の4.33%となり、不良債権に対する保全率は75%になりました。



第103期 貸借対照表
(令和8年3月31日現在)

令和 8年4月22日 作成
令和 8年5月28日 備付

住 所 富山県魚津市双葉町6番5号
信用金庫名 にかわ信用金庫
理 事 長 本多 敏明

科 目	金 額
(資産の部)	百万円
現 金	1,301
預 け 金	74,246
有 価 証 券	26,701
国 債	6,951
地 方 債	1,249
社 債	9,997
株 式	32
そ の 他 の 証 券	8,469
貸 出 金	69,119
割 引 手 形	59
手 形 貸 付	4,317
証 書 貸 付	61,336
当 座 貸 越	3,405
そ の 他 資 産	1,294
未 決 済 為 替 貸	19
信 金 中 金 出 資 金	946
前 払 費 用	0
未 収 収 益	275
そ の 他 の 資 産	51
有 形 固 定 資 産	1,626
建 物	430
土 地	1,110
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	84
無 形 固 定 資 産	41
ソ フ ト ウ ェ ア	12
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	29
前 払 年 金 費 用	206
債 務 保 証 見 返	41
貸 倒 引 当 金	△906
(うち個別貸倒引当金)	(△876)
資 産 の 部 合 計	173,672

科 目	金 額
(負債の部)	百万円
預 金 積 金	171,212
当 座 預 金	2,895
普 通 預 金	99,651
貯 蓄 預 金	112
通 知 預 金	-
定 期 預 金	65,150
定 期 積 金	2,251
そ の 他 の 預 金	1,152
そ の 他 負 債	312
未 決 済 為 替 借	35
未 払 費 用	127
給 付 補 填 備 金	1
未 払 法 人 税 等	1
前 受 収 益	13
払 戻 未 済 金	0
払 戻 未 済 持 分	0
資 産 除 去 債 務	1
そ の 他 の 負 債	131
賞 与 引 当 金	29
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	47
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	14
偶 発 損 失 引 当 金	13
繰 延 税 金 負 債	47
債 務 保 証	41
負 債 の 部 合 計	171,720
(純資産の部)	
出 資 金	501
普 通 出 資 金	501
利 益 剰 余 金	5,422
利 益 準 備 金	502
そ の 他 利 益 剰 余 金	4,920
特 別 積 立 金	4,689
(経営安定化積立金)	(250)
当 期 未 処 分 剰 余 金	230
会 員 勘 定 合 計	5,924
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△3,971
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△3,971
純 資 産 の 部 合 計	1,952
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	173,672

第103期 損益計算書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

令和 8年4月22日 作成
令和 8年5月28日 備付

住 所 富山県魚津市双葉町6番5号
信用金庫名 にいかわ信用金庫
理 事 長 本多 敏明

科 目		金 額	
		千円	千円
経 常 収 益			2,138,487
	資 金 運 用 収 益	1,739,892	
	貸 出 金 利 息	1,042,484	
	預 け 金 利 息	445,174	
	有 価 証 券 利 息 配 当 金	225,822	
	そ の 他 の 受 入 利 息	26,411	
	役 務 取 引 等 収 益	184,443	
	受 入 為 替 手 数 料	66,790	
	そ の 他 の 役 務 収 益	117,653	
	そ の 他 業 務 収 益	13,416	
	そ の 他 の 業 務 収 益	13,416	
	そ の 他 経 常 収 益	200,733	
	貸 倒 引 当 金 戻 入 益	174,731	
	償 却 債 権 取 立 益	5,335	
	そ の 他 の 経 常 収 益	20,667	
経 常 費 用			1,829,333
	資 金 調 達 費 用	295,150	
	預 金 利 息	293,624	
	給 付 補 填 備 金 繰 入 額	1,526	
	役 務 取 引 等 費 用	113,126	
	支 払 為 替 手 数 料	21,459	
	そ の 他 の 役 務 費 用	91,666	
	そ の 他 業 務 費 用	152,870	
	国 債 等 債 券 売 却 損	152,715	
	そ の 他 の 業 務 費 用	155	
	経 費	1,239,175	
	人 件 費	747,627	
	物 件 費	448,406	
	税 金	43,140	
	そ の 他 経 常 費 用	29,010	
	貸 出 金 償 却	23,965	
	そ の 他 の 経 常 費 用	5,045	
経 常 利 益			309,153
特 別 利 益			24,202
	固 定 資 産 処 分 益	4,202	
	そ の 他 の 特 別 利 益	20,000	
特 別 損 失			131,607
	固 定 資 産 処 分 損	131,199	
	減 損 損 失	407	
税 引 前 当 期 純 利 益			201,748
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税			1,512
法 人 税 等 調 整 額			5,538
法 人 税 等 合 計			7,051
当 期 純 利 益			194,697
繰 越 金 (当 期 首 残 高)			36,093
当 期 未 処 分 剰 余 金			230,790

【有価証券の時価情報】

- お客様からお預かりした預金は、地域の皆様へ融資しているほか、格付けの高い有価証券(国債、社債等)などリスクを限定した安全な資産で運用しております。
- 日本銀行の継続的な政策金利引き上げスタンスや物価高等から、国内の市場金利が上昇(債券価格は下落)した結果、おもに日本国債等の国内債券で時価は前期比で下落しました。

(単位:百万円)

【その他有価証券】	種 類	令和7年3月期			令和8年3月期		
		貸借対照表 計上額	取得原価	差 額	貸借対照表 計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	316	315	0	-	-	-
	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	316	315	0	-	-	-
	そ の 他	200	200	0	48	47	1
	小 計	516	515	0	48	47	1
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	17,166	19,597	△ 2,430	16,062	19,449	△ 3,386
	国 債	7,773	9,823	△ 2,049	6,951	9,821	△ 2,870
	地 方 債	700	758	△ 58	613	703	△ 90
	社 債	8,692	9,014	△ 322	8,497	8,923	△ 426
	そ の 他	8,357	9,205	△ 848	8,121	8,708	△ 586
	小 計	25,523	28,802	△ 3,278	24,183	28,157	△ 3,973
合 計		25,541	28,820	△ 3,278	24,232	28,204	△ 3,971

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(単位:百万円)

【満期保有目的の債券】	種 類	令和7年3月期			令和8年3月期		
		貸借対照表 計上額	時価	差 額	貸借対照表 計上額	時価	差 額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	206	206	0	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-
	小 計	206	206	0	-	-	-
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	490	477	△ 12	636	611	△ 25
	社 債	1,500	1,470	△ 30	1,500	1,448	△ 51
	そ の 他	800	799	△ 0	300	299	△ 0
	小 計	2,790	2,746	△ 43	2,436	2,359	△ 77
合 計		2,996	2,953	△ 42	2,436	2,359	△ 77

- (注) 1. 時価は期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

第103期 剰余金処分

科目	金額
当期末処分剰余金	230,790,216 円
利益準備金取崩額	833,500 円
計	231,623,716 円
剰余金処分量	210,035,561 円
普通出資に対する配当金(年2%)	10,035,561 円
特別積立金	200,000,000 円
繰越金(当期末残高)	21,588,155 円

第103期 通常総代会決議

令和8年6月12日開催の当金庫第103期通常総代会において、下記のとおり決議されました。

記

【報告事項】

- 第103期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
本件については、業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容を報告いたしました。

【決議事項】

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案 会員資格解除に関する件
本件については、原案どおり承認可決されました。

以上



理事長 本多敏明

常務理事	貫名昭人	常勤監事	七澤久徳
常勤理事	船屋和芳	員外監事	坂井浩
常勤理事	中村悟	監事	小泉昌雄
理事	四十物直之		
理事	星名照彦		
理事	石崎正		

貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、河村拓栄公認会計士の監査を受け、適法意見の監査報告書を受領しております。

トピックス（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

令和7年

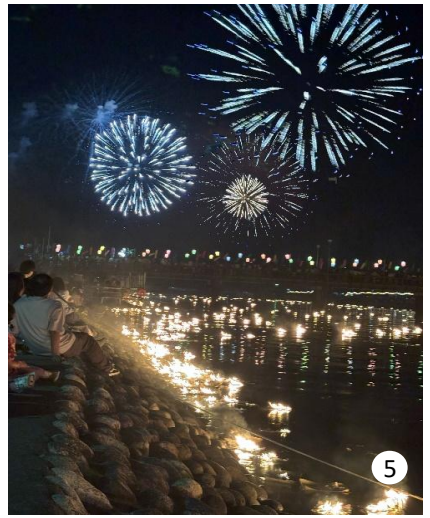
- 4月 ・ アフラック終身保険「ツミタス」、住友生命個人年金「たのしみグローバルⅢ」の取扱いを開始しました。
 - ・ 「魚津しんきろうマラソン」に職員が参加するとともに、ボランティア協力と私設エイド（給水所）での飲料提供を行いました。・・・①
- 5月 ・ 「黒部名水マラソン」に職員が参加するとともに、ボランティアとして、関門員等の協力を行いました。・・・②
- 6月 ・ 「寿司といえば、富山」応援定期～しあわせ定期～の発売を開始しました。
 - ・ 「日枝神社春季例大祭（山王まつり）」後に清掃活動を行いました。
 - ・ 「魚津神社春季例大祭」後に清掃活動を行いました。・・・③
 - ・ 第102期通常総代会をホテルグランミラージュで開催しました。
 - ・ 魚津商工会議所と事業承継に係る連携を開始し、事業承継に関するアンケートを実施し分析会を開催しました。
- 7月 ・ 「14歳の挑戦」で、魚津市内の中学生が信用金庫の仕事を経験しました。・・・④
 - ・ 商工業の祭典「くろべフェア2025」に出展しました。
 - ・ 中小企業等のDX伴奏支援のため、滑川市「DXアドバイザー育成事業」に参加しました。（～R8.2）
 - ・ 水橋橋まつりのエコ火流しに協力しました。・・・⑤
 - ・ 鴨川一斉清掃（魚津市）に参加しました。・・・⑥
- 8月 ・ じゃんとこい魚津まつり、ユネスコ無形文化遺産「たてもん祭り」にボランティアとして参加しました。・・・⑦
 - ・ じゃんとこい魚津まつり「せり込み蝶六踊り街流し」に参加しました。・・・⑧
- 9月 ・ 価格転嫁の情報提供や専門機関への橋渡しをサポートする富山県の価格転嫁サポーター制度に参加しました。
- 10月 ・ 県内信用金庫とともに日本政策金融公庫と「危機事象（地震、津波、豪雨等の自然災害や感染症の発生等、地域経済に影響を及ぼす事象）発生における業務連携に関する覚書」を締結しました。
 - ・ 魚津産業フェア「まるまる魚津2025」に出展しました。
- 11月 ・ 「寿司といえば、富山」応援定期part2～しあわせ定期～の発売を開始しました。
- 12月 ・ 新川高校3年生を対象に、「金融リテラシー講座」を行いました。・・・⑨

令和8年

- 1月 ・ 魚津商工会議所と共同で「事業承継セミナー」を開催しました。
 - ・ 中小企業等の脱炭素（カーボンニュートラル）支援のため、「カーボンニュートラル地域リーダー育成事業」（しんきん地域創生ネットワーク、富山県庁、滑川市）に参加しました。
- 2月 ・ 魚津市「認知症サポーターステップアップ講座」に職員が12名受講し修了しました。・・・⑩
- 3月 ・ 県内7金庫合同の給与振込口座キャンペーン「ラッキー7キャンペーン」と並行して「給与振込キャンペーン2025」を実施しました。
 - ・ 魚津市内の円滑な事業承継支援のため、「魚津市事業承継ネットワーク会議」に参加しました。
 - ・ 「中東情勢緊迫化に伴う特別相談窓口」を設置しました。

通年での取組み

- ・ お取引先企業18社のSDGs宣言策定支援を行いました。
- ・ フードドライブ活動に取組み、お客さまからご寄付いただいた食品を各地区の社会福祉協議会へ寄贈しました。



営業区域と店舗のご案内

■当金庫では、県内全域の活性化を通じた地方創生、さらなるお客様への利便性向上を目的として、営業エリアを富山県全域としております。

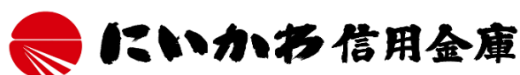


【店舗の案内】

■ 本店営業部	魚津市双葉町6-5	TEL 0765-24-1155
■ 桜井支店	黒部市三日市3146-1	TEL 0765-52-0227
■ 生地支店	黒部市三日市3146-1	TEL 0765-52-0227
■ 入善支店(※1)	下新川郡入善町入膳5444-3	TEL 0765-72-0143
■ 泊支店 (※2)	下新川郡朝日町泊418	TEL 0765-82-0246
■ 魚津駅前支店(※1)	魚津市釈迦堂1-13-11	TEL 0765-23-1211
■ 水橋支店(※1)	富山市水橋辻ヶ堂135-3	TEL 076-478-1151
■ 新庄支店(※1)	富山市向新庄町1-1-2	TEL 076-451-5158
■ 富山支店(※2)	富山市西町7-6	TEL 076-421-2455
■ 滑川営業部	滑川市四間町693-1	TEL 076-475-3121

※1 11:30~12:30の間、窓口営業を休止させていただいております

※2 12:30~13:30の間、窓口営業を休止させていただいております



富山県魚津市双葉町6番5号

TEL. 0765-24-1214(代) FAX. 0765-24-6277

URL <https://www.shinkin.co.jp/niihaka/>